

越前市の魅力を全国にPR **越前市ふるさと大使**

市にゆかりがあり、さまざまな分野で活躍されている方々に「越前市ふるさと大使」を委嘱しています。大使の皆さんには、市の応援団として、豊かな自然・歴史・芸術等の素晴らしさを全国に広く知っていただくための広報活動をお願いしています。今月から毎月、ふるさと大使の皆さんからのメッセージをご紹介します。

— 越前市との関わりや思い出は？

14歳のときに大阪から引っ越してきました。福井弁が新鮮で、友だちを作るために一生懸命覚えました。言葉について考える大きな体験だったと思います。後に週刊誌で旅の連載をしたときにも、越前市を紹介しました。

— 越前市の魅力はどんなところですか？

「ふるさとらしさ」のいっぱいあるところ。自然が豊かで、昔ながらの文化もあって…。

近年は、ものすごく美味しいスイカや、和紙をつかったモダンな小物や、昔ながらの木工の技術を生かした家具など、魅力のある産品も増えているなあと感じています。それらを自慢します。

— 市民の皆さんへのメッセージ

懐かしい思い出の場所としてだけ認識していた越前市ですが、週刊誌の取材で訪ねたとき、大人の街でもあるなあと感じました。

暮らしのなかに文化が息づいているという印象です。

カメラマンも、絵になるところが多い！と驚いていました。

住んでいる人には、案外見えにくい魅力かもしれませんが、ゆったり流れる時間と、新しいものを生み出そうという活気と、両方があると感じました。そういう街で思春期を送れて、よかったと思っています。

ふるさと大使 no.01



俵 万智 さん

俵 万智(たわら・まち) 歌人。
代表作に「サラダ記念日」など。
中学・高校時代を越前市で過ごす。

3月24日にリニューアルした、福鉄「北府駅」駅舎内に、俵さんの思い出を綴ったエッセイ「少年の指定席」が掲示されています。俵さんの心温まるエッセイを、ぜひご覧ください。